

特殊詐欺対策通信

令和6年

7月
まとめ

特殊詐欺発生状況（※SNS型投資・ロマンス詐欺は含まれません）

7月中	件数	金額	1～7月	件数	金額
R6年	6	約340万円	R6年	84	約1億7,240万円
R5年	17	約6,150万円	R5年	106	約2億7,410万円
増減	-11	約-5,800万円	増減	-22	約-5,800万円

※金額欄は端数を四捨五入しており、金額の増減と一致しない場合があります。

SNS型投資・ロマンス詐欺発生状況（※特殊詐欺には含まれません）

7月中	件数	金額	1～7月	件数	金額
R6年	13	約4億3,440万円	R6年	85	約11億3,350万円
R5年	3	約600万円	R5年	14	約7,340万円
増減	+10	約+4億2,840万円	増減	+71	約+10億6,010万円

※当面の間、特殊詐欺に類似するSNS型投資・ロマンス詐欺の件数・金額を掲載します。

7月中の主な特殊詐欺の手口

7月は、NTTファイナンスの職員を名乗る者から「有料サービスの未納料金がある。」などと電話があり、金銭を要求される**架空料金請求詐欺**を認知しました。

NTTファイナンスを名乗る架空料金請求詐欺の手口一例

携帯電話にNTTファイナンスの職員を名乗る者から電話があり、「有料サービスに登録され、1年間料金が支払われていない。このままでは裁判になる。」などと言われる。

身に覚えがないことを伝えるとさらに、「過去1年間のあなたのアクセス履歴がないか調べてみます。アクセス履歴がなければ誤認登録と思われます。」などと言われ、調査を依頼すると、「あなたのアクセス履歴はなかったので今回は誤認登録です。」と言われる。

さらに、「月々の利用料や調査費用等を併せて〇〇万円が発生しています。」「しかし、今回は誤認登録だったので個人情報保護委員会の補償制度を利用することができる。あなたが支払った95%は後日返却される。5%は調査費用等になります。」などと言われ、95%の返却があるものと信じて指定口座に金銭を振り込まれるが、その後も様々な理由を付けて金銭を要求される。

特殊詐欺未然防止紹介

7月中、備前郵便局では来店客が振込み手続きをしようとしたことから振込み理由を確認したところ、来店客が訴訟予告最終通知と記載された封書を見せたことから同封書を見た職員が振り込みを詐欺と見破り、架空料金請求詐欺被害を未然に防止しました。

また、県内の各コンビニエンスストアでは、電子マネーカードを購入する来店客に店員が購入理由を聞き、警察に通報するなどして架空料金請求詐欺被害を未然に防止しています。

このほかにも、金融機関やコンビニエンスストアなどで合計20件の特殊詐欺被害を未然に防止することができました。

ココに「技あり」!

備前郵便局では、局員の特殊詐欺に関する知識があったからこそ封書の内容を詐欺と見抜けたもので、封筒の内容までしっかりと確認したことは未然防止の好事例です。

特殊詐欺のほか、SNS型投資・ロマンス詐欺には様々な手口が存在しますので、今後も振込理由等をしっかりと確認していただき未然防止をお願いします!